

お客さま本位の業務運営方針に対する評価指標

FPブレンでは、2018年6月に金融庁より公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」に係る自社KPIとして、投資信託をお持ちのお客さまの「運用損益別顧客比率」と、弊社にて口座を開設されている方の「口座開設期間別損益状況分布」を公表いたします。(いずれも2019年3月末基準)

「運用損益別顧客比率」においては、運用益がプラスのお客さまの比率が88%となり、前年の74%から14%上昇いたしました。この比率には、その時期の相場が影響し、特に、運用を始めてからの期間が短い方ほどその影響は大きくなります。

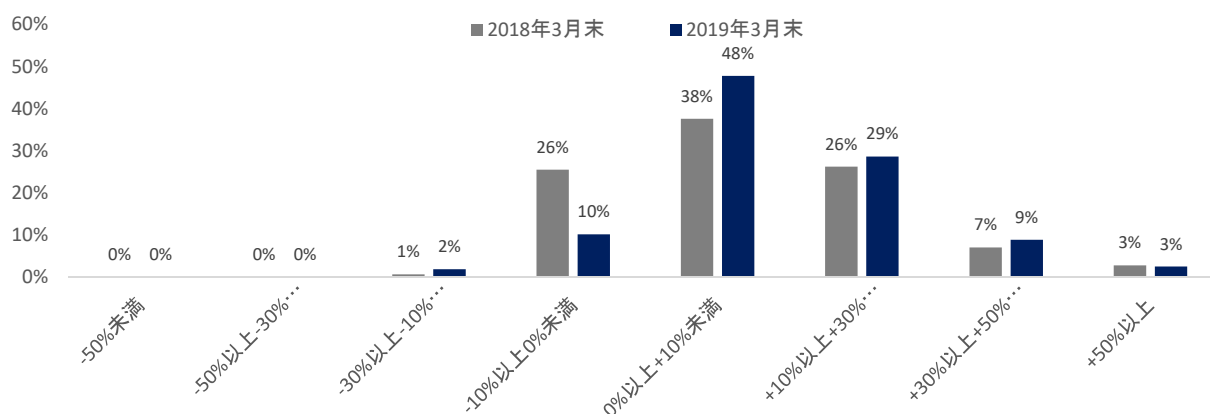
資産運用は、短期間で判断するものではなく、10年、20年という時間をかけて形成していくことが重要です。実際、「口座開設期間別損益状況」に示される通り、2019年3月末においては、5年以上口座を保有されている方は全て運用益はプラスとなっております。

FPブレンがお客さまにお伝えする、長期分散投資の実践により、この数値が実現できていると考えております。

相場に左右されず、長期分散投資を継続するためのサポートをし続けることが、FPブレンが最も大切にす
るお客さまの利益と、安定した生活や将来の安心につながるという信念のもと、今後もスタッフ一同努力を
続け、評価指標を公表してまいります。

運用損益別顧客比率(投資信託)

各年3月末時点で、投資信託をお持ちの個人のお客さまの損益分布状況を示しています。



運用益がプラスのお客さまの割合

2018年3月末	74%
2019年3月末	88%

口座開設期間別損益状況

2019年3月末時点で、口座をお持ちの個人のお客さまの口座開設期間別の損益状況を示しています。
(証券口座における時価評価額から、口座への入金金額を差し引いた数値により損益を算出)

